

なんで太田市と？

群馬県太田市。自動車メーカーの本拠地で有名な街ですが、市がオーケストラや合唱団、劇団まで抱えるハイレベルな学校をつくり、国内で活発な活動を行っています。8月末、その「おおた芸術学校」と当市の交流会が実現し、演劇や六日町高校、郡市3中学校の吹奏楽部との演奏、300人での合唱などで大いに交流が深まりました。

しかし、なぜ太田市なのか？市長就任から間もないころ、非公式で太田市を訪ねたことがきっかけでした。どうしても見てみたい学校があった。それは「ぐんま国際アカデミー」という保育園から小中高校まですべての授業、学校生活を英語で行う学園。今では珍しくないかもしれませんが、国内初の試みで、小泉内閣当時の国家戦略特区の一環で建学されたものです。そこで教える国際大学出身のインド人の友人が「ぜひ見に来て」と勧めてくれていましたが、私には別の視座もあった。旧知の医師たちから「太田に行く医師が結構いる。しかも子育て世代の若

い医師たちが」といううわさを聞いていたのです。

「何かある」そう思い単身訪ねたその学園で、待っておられたのが清水聖義市長。在職7期目の全国屈指の有名市長。驚いた私に開口一番「君は何のために来たのか」と。禅問答のような初対面。私は「医師が欲しくて来ました」と答えた。見抜かれたと思ったのです。この時「英語教育のため」と答えていたら、おそらく今日の関係はなかったでしょう。その後、厚情いただき、先の音楽交流も含めさまざまなアドバイスを授けていただくことに。

学園に通う子どもたちの保護者の半数以上が医療関係者。子弟教育の環境を求めて医師が集まる。医師だけではない。今、人口減少とか若者が帰ってこないとか、医師不足とか言う。しかし、その肝とは何か。学園も芸術学校も、市長のすぐみすら感じるリーダーシップと先見性で進められたもの。

街づくりに教育と芸術。テーマは違えど、学ぶべき姿勢。尊敬と憧れの念しきり。追いつきたい。

国際大学留学生 お国自慢コーナー ～boast of my country～

チャド共和国 デボヌー ドースマ さん



私の国はこんなところ

アフリカ北部中央の内陸に位置するチャドは、言語、宗教、文化遺産など多様性に富んだ国です。ザクマ国立公園、世界遺産ウニャンガ湖沼群、700万年前のサヘラントロプス化石（最古の猿人類の頭蓋骨。「生命の希望」という意味の現地語の愛称トゥーマイがある）など、魅力的な観光国として有名です。石油、金、ウラ

ンなどの天然資源や、綿、牛、鉱物、アラビアゴムなどの資源も豊富です。

首都ンジャメナ市は国内で最も人が集まる栄えた場所で、伝統的なレストランもあり、昼でも夜でも楽しめます。

南魚沼市に住んで感じたこと

おいしいお米、甘いスイカ、美しい美術館のある南魚沼は、私がこれまで訪れた日本の街の中で最高の場所です。ぶどう収穫祭、火渡り祭や浦佐毘沙門堂裸押合大祭などさまざまなイベントや人びとのおもてなしを通し、多くを学び、この地域にすぐに溶け込むことができました。稲刈りや南魚沼縦断駅伝大会への参加や、おにぎりの作り方を学ぶ機会もありました。

喜びを共有してくれるすてきな人たちと共に、毎日楽しく過ごしています。



チャド共和国

公用語	フランス語、アラビア語
首都	ンジャメナ
面積	1,284,000km ² (20位)
人口	14,890,000人
GDP (PPP)	108億6,000万ドル (161位)
通貨	CFAフラン (XAF)

※ GDPは国内総生産のことで、購買力平価説 (PPP) により算出した数値です